

平成26年度 水質事故概要（1～3月）

No.	発生日	発生場所			事故区分				措置機関名	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者 判明区分	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
		水域名	派川名	場所等	魚 浮 上	油 浮 遊	着 色 等	そ の 他				
1	1月8日	横浜港		鶴見区				○	海上保安庁 水・土壌環境課	アルカリ排水の流出の通報あり。現地調査では通報と同様の状況を確認。事業所のアルカリ排水の流出が原因と判明。生物被害なし。	判明	事故時の措置(水濁法第14条の2)に基づく指導を実施
2	1月16日	鶴見川	江川	都筑区	○				都筑水再生センター 都筑土木事務所 環境科学研究所 水・土壌環境課	魚浮上の通報あり。現地調査では通報と同様の状況を確認。流入水路で魚浮上を確認したが、原因は特定できなかった。鯉22匹、小魚約30匹の被害。死骸を回収した。	不明	
3	1月26日	境川	舞岡川	戸塚区				○	戸塚土木事務所 水・土壌環境課	白濁の通報あり。現地調査では通報と同様の状況を確認。遡上調査で工事排水が原因と判明。生物被害なし。	判明	再発防止及び顛末書の提出を指導
4	1月26日	鶴見川	浄念寺川	都筑区	○				都筑土木事務所 環境科学研究所 水・土壌環境課	魚浮上の通報あり。現地調査では通報と同様の状況を確認。約200mの範囲でコイ、ドジョウ、モツゴなど約100匹の被害。水質検査を行ったが、原因は特定できなかった。	不明	
5	1月26日	鶴見川	浄念寺川	都筑区				○	水・土壌環境課	灰色の濁水が流れているのを発見。遡上調査で工事排水が原因と判明。生物被害なし。	判明	現場にて、発生源指導

平成26年度 水質事故概要（1～3月）

No.	発生日	発生場所			事故区分				措置機関名	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者 判明区分	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
		水域名	派川名	場所等	魚 浮 上	油 浮 遊	着 色 等	そ の 他				
6	1月27日	鶴見川	早濑川	青葉区			○		青葉土木事務所	白濁の通報あり。現地調査で、濁りを確認。雨水管吐き口で濃い濁りを確認したが、遡上調査で発生源を特定できなかった。生物被害なし。	不明	
7	1月27日	鶴見川	早濑川	青葉区			○		横浜川崎治水事務所 青葉土木事務所	発泡の通報あり。現地調査では発泡と白濁を確認。雨水管人孔内で発泡を確認したが、発生源は特定できなかった。生物被害なし。	不明	
8	2月3日	鶴見川	鳥山川	神奈川区			○		神奈川県警 神奈川消防署 神奈川土木事務所 水・土壌環境課	白濁の通報あり。現地調査では白濁と発泡を確認。遡上調査で事業所排水が原因と判明。生物被害なし。	判明	再発防止及び顛末書の提出を指導
9	2月6日	境川	和泉川	泉区			○		泉土木事務所 水・土壌環境課	白濁の通報あり。現地調査では通報と同様の状況を確認。遡上調査で塗料の洗浄水が原因と判明。生物被害なし。	判明	再発防止及び顛末書の提出を指導
10	2月9日	大岡川	日野川	港南区		○			港南土木事務所 水・土壌環境課	油浮遊の通報あり。現地調査では通報と同様の状況を確認。遡上調査で事業所の汚水の流出が原因と判明。雨水管吐き口付近に土嚢および油吸着材を設置。生物被害なし。	判明	再発防止及び顛末書の提出を指導

平成26年度 水質事故概要（1～3月）

No.	発生日	発生場所			事故区分				措置機関名	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者 判明区分	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
		水域名	派川名	場所等	魚 浮 上	油 浮 遊	着 色 等	そ の 他				
11	2月10日	鶴見川	早濑川	青葉区			○		青葉土木事務所	白濁の通報あり。現地調査では、白濁が消失していた。白濁消失のため発生源を特定できなかった。生物被害なし。	不明	
12	2月12日	柏尾川	いたち川	栄区			○		栄土木事務所	白濁の通報あり。現地調査では通報と同様の状況を確認。流入箇所が不明で発生源を特定できなかった。	不明	
13	2月16日	柏尾川	いたち川	栄区		○			栄土木事務所 水・土壌環境課	油浮遊の通報あり。現地調査では通報と同様の状況を確認。事業所からの切削油の漏洩が原因と判明。排水口に油吸着材を設置し、漏洩を防止。生物被害なし。	判明	事故時の措置(水濁法第14条の2)に基づく指導を実施
14	2月17日	入江川	第二派川	神奈川区		○			神奈川土木事務所	油浮遊の通報あり。現地調査をしたが、発生源を特定できなかった。生物被害なし。	不明	
15	2月18日	帷子川	二俣川	旭区		○			旭土木事務所	油浮遊の通報あり。現地調査では、油浮遊が薄くなっていた。雨水管吐き口で油浮遊を確認したが、日没で遡上調査不能となり、発生源を特定できなかった。生物被害なし。	不明	

平成26年度 水質事故概要（1～3月）

No.	発生日	発生場所			事故区分				措置機関名	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者 判明区分	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
		水域名	派川名	場所等	魚 浮 上	油 浮 遊	着 色 等	そ の 他				
16	2月25日	境川	宇田川	戸塚区			○		戸塚土木事務所	白濁の通報あり。現地調査では通報と同様の状況を確認。遡上調査したが発生源を特定できなかった。生物被害なし。	不明	
17	2月26日	その他の水域	富岡川	金沢区		○			海上保安庁 金沢土木事務所	油浮遊の通報あり。現地調査では通報と同様の状況を確認。発生源を特定できなかった。生物被害なし。	不明	
18	3月6日	横浜港		鶴見区		○			海上保安庁 港湾局 鶴見土木事務所	油浮遊の通報あり。現地調査では通報と同様の状況を確認。遡上途中で薄くなり、発生源を特定できなかった。オイルマットを設置。生物被害なし。	不明	
19	3月13日	大岡川	日野川	港南区		○			港南土木事務所	油浮遊の通報あり。現地調査では通報と同様の状況を確認。遡上途中で暗渠となり、発生源を特定できなかった。油吸着材を設置。生物被害なし。	不明	
20	3月16日	大岡川		港南区			○		横浜川崎治水事務所	濁水の通報あり。現地調査では通報と同様の状況を確認。発生源を特定できなかった。生物被害なし。	不明	

